



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 太平製作所

コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神谷 慎二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 桂山 哲夫

TEL 0568-73-6411

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,491	47.2	58	—	66	—	11	—
26年3月期第3四半期	2,371	△24.5	△337	—	△275	—	△214	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 12百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △205百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	0.85	—
26年3月期第3四半期	△15.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第3四半期	8,862	—	3,156	35.6	235.12	
26年3月期	6,578	—	3,197	48.6	238.21	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,156百万円 26年3月期 3,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	49.7	240	—	280	—	165	144.8	12.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	15,000,000 株	26年3月期	15,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	1,575,530 株	26年3月期	1,575,530 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	13,424,470 株	26年3月期3Q	13,425,422 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策により企業の収益改善や株式相場の上昇など、緩やかな回復基調が見られましたが、欧州およびロシアにおける金融不安や中国をはじめとする新興国経済の下振れリスクも強く、国内においてもGDP成長率がマイナスになるなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社を取り巻く事業環境は、補助金等の活用による新規設備投資の増加が見られるなど回復の兆しも見受けられましたが、新設住宅着工戸数が大きく落ち込む等、長期化する消費税増税の反動減等から、設備投資に対する見方は慎重なものとなっております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の当社グループは、営業を中心とした販売活動と機械の開発活動に注力した結果、売上高は3,491百万円（前年同四半期比47.2%増）となりました。利益につきましては、受注増加が寄与し営業利益は58百万円（前年同四半期は337百万円の営業損失）、経常利益は66百万円（前年同四半期は275百万円の経常損失）、四半期純利益は11百万円（前年同四半期は214百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業は、積極的な営業活動と補助金施策も追い風となり受注が増加した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,114百万円（前年同四半期比68.6%増）となりました。営業利益につきましては、材料費等の高騰や在庫の評価減の影響もありましたが、売上増加が寄与し112百万円（前年同四半期は159百万円の営業損失）となりました。

②木工機械事業

木工機械事業は、積極的な営業活動による売上増加と受注確保に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は626百万円（前年同四半期比176.6%増）となりました。営業利益につきましては、材料費等の価格高騰が続いておりますが、原価管理を細かく実施し、コストダウンに向けて最大限努力した結果、13百万円（前年同四半期は139百万円の営業損失）となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業は、消費税増税による駆け込み需要の反動などから新設住宅着工戸数が大きく減少し、受注競争も熾烈さを増すなど厳しい状況の中、積極的な営業活動による受注確保に努めたましたが、受注単価が減少した影響により、当第3四半期連結累計期間の売上高は750百万円（前年同四半期比15.7%減）となりました。営業利益につきましては、コスト削減に最大限努力しましたが、需要減による価格競争に加え、急激な円安による部材の高騰などの影響により、21百万円（前年同四半期比50.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて52.8%増加し、6,936百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,443百万円増加、たな卸資産が919百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.6%減少し、1,926百万円となりました。これは主に、有形固定資産が23百万円減少、投資その他の資産が80百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて34.7%増加し、8,862百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて88.7%増加し、5,124百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が547百万円増加、前受金が1,827百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて12.5%減少し、581百万円となりました。これは主に、長期借入金 が67百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて68.8%増加し、5,706百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、3,156百万円となりました。これは主に、利益剰余金が42百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

政府の経済・金融政策により国内経済において一部回復の兆しも見受けられますが、長期化する消費税増税の反動による消費の低迷、急激な円安による輸入原材料価格の上昇等、景気の先行きに懸念が残る状況にあり、海外においても米国経済が回復基調にあるものの、長引く欧州債務危機や世界各地における政情不安、中国をはじめとする新興国経済の景気減速により、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループを取り巻く事業環境においても、住宅着工戸数の回復にはいまだ時間がかかると予想され、材料費等の上昇が今後においても継続することが見込まれるなど厳しい状況であります。

このような状況の中、積極的な営業活動による販売促進に努め、ほぼ計画通りの受注および売上状況で推移しておりますが、当社の主力合板機械事業での大型機械は全て受注生産であることから、受注から売上計上に至るまでには、長期間の納期が必要であることや、得意先の都合など様々な要因で納期が変更になる事もあり、安定かつ計画通りの売上を計上することが困難な状況であります。

当社グループは、このようなリスクを出来るだけ少なくするように努めるとともに、変化する事業環境や顧客ニーズに対応した機械の開発・改良に取り組み、得意先の設備が安全・安定稼働できるような体制構築に努めるなどグループ一丸となって経営の安定化に取り組んでまいり所存であります。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,123,223	3,566,464
受取手形及び売掛金	1,017,054	979,160
有価証券	100,000	100,000
製品	110,088	-
仕掛品	860,378	1,908,935
原材料及び貯蔵品	201,872	183,168
その他	130,418	203,263
貸倒引当金	△4,042	△4,557
流動資産合計	4,538,992	6,936,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	669,411	652,060
土地	689,746	689,746
その他(純額)	221,250	215,469
有形固定資産合計	1,580,409	1,557,277
無形固定資産	49,163	39,227
投資その他の資産		
その他	415,359	335,102
貸倒引当金	△5,532	△5,532
投資その他の資産合計	409,826	329,570
固定資産合計	2,039,399	1,926,075
資産合計	6,578,392	8,862,512
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,064,267	1,611,455
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	133,000	133,400
未払法人税等	18,900	-
賞与引当金	56,994	40,750
役員賞与引当金	26,000	19,500
前受金	421,908	2,249,881
その他	145,479	219,865
流動負債合計	2,716,550	5,124,852
固定負債		
長期借入金	167,000	99,900
繰延税金負債	106,430	122,496
役員退職慰労引当金	10,439	11,812
退職給付に係る負債	184,418	180,649
その他	195,622	166,316
固定負債合計	663,910	581,175
負債合計	3,380,460	5,706,028

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	2,544,549	2,502,351
自己株式	△205,647	△205,647
株主資本合計	3,166,103	3,123,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,828	32,578
その他の包括利益累計額合計	31,828	32,578
純資産合計	3,197,931	3,156,484
負債純資産合計	6,578,392	8,862,512

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,371,560	3,491,378
売上原価	2,149,336	2,885,146
売上総利益	222,223	606,232
販売費及び一般管理費	560,101	548,049
営業利益又は営業損失(△)	△337,878	58,182
営業外収益		
受取利息	750	629
受取配当金	3,268	3,468
鉄屑売却収入	3,162	1,954
保険解約返戻金	61,633	3,996
その他	4,625	8,497
営業外収益合計	73,440	18,546
営業外費用		
支払利息	11,442	9,636
その他	31	767
営業外費用合計	11,473	10,404
経常利益又は経常損失(△)	△275,912	66,325
特別損失		
固定資産除売却損	—	2,174
特別損失合計	—	2,174
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△275,912	64,150
法人税、住民税及び事業税	2,355	9,538
過年度法人税等戻入額	△7,195	△4,469
法人税等調整額	△56,977	47,581
法人税等合計	△61,817	52,650
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△214,094	11,499
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△214,094	11,499

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△214,094	11,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,104	750
その他の包括利益合計	8,104	750
四半期包括利益	△205,989	12,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△205,989	12,250

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,253,956	226,439	891,164	2,371,560
セグメント間の内部売上高又は振替高	381	2,116	—	2,497
計	1,254,337	228,555	891,164	2,374,057
セグメント利益又は損失(△)	△159,963	△139,946	43,481	△256,428

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

損 失	金 額
報告セグメント計	△256,428
全社費用(注)	△81,449
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△337,878

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,114,041	626,432	750,904	3,491,378
セグメント間の内部売上高及び振替高	125	—	—	125
計	2,114,167	626,432	750,904	3,491,504
セグメント利益	112,779	13,083	21,419	147,281

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	147,281
全社費用（注）	△89,099
四半期連結損益計算書の営業利益	58,182

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。